

「健常新生児の腹部超音波検査スクリーニングによる潜在性腹部・泌尿生殖器疾患の検討」について

当センターでは、下記のと通りの臨床研究（学術研究）を実施しています。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守いたします。

なお、あなたの試料・情報について、本研究への利用を望まれない場合には、問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究課題名

健常新生児の腹部超音波検査スクリーニングによる潜在性腹部・泌尿生殖器疾患の検討

2. 研究の対象および研究対象期間

2018年11月1日から2025年12月31日まで当院産科で出生した新生児

2. 研究目的・方法

当院で胎児期に妊婦健診を受け、特に異常を指摘されることなく出生する新生児の中には先天性水腎症をはじめ先天性胆道拡張症や悪性腫瘍など比較的稀ではあるが出生後偶然発見され、増悪した時点で治療介入することがある。本研究では当院で出生するすべての新生児に対して妊婦健診では指摘されなかった潜在的な疾患を早期に検出し、その発生率や疾患の種類を明らかにするとともに適切な時期に治療介入へ繋げることで新生児医療の質の向上に貢献することを目的とする。

新生児室で衛生管理・体温管理された状況下で腹部超音波検査を行う。検査中嘔吐や誤嚥などの症状が出現した場合は速やかに検査を中断し状況に応じて医学的治療介入を開始する。

研究期間

2018年11月1日～2025年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報；妊娠・周産期歴、妊婦健診の所見、出生体重、性別、出産の種類（経膈分娩や帝王切開など）、カルテ番号、腹部臓器の腹部超音波検査所見

資料；なし

4. お問い合わせ先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記にお申し出ください。資料・情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

日本赤十字社和歌山医療センター 小児外科

研究担当医師 堀池 正樹連絡先 073-422-4171（代表）（平日：9時00分～17時30分）